

『しずおか中部連携中枢都市圏』 首長宣言

日本のほぼ中央に位置する静岡県、その静岡県の中央に位置する中部5市2町は、北は3,000m級の南アルプスの山々、南は日本一の深さを誇る駿河湾に囲まれ、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた地域です。

この地域には、首都圏、中京圏、関西圏を結ぶ東海道新幹線、東名・新東名高速道路、国道1号といった交通の大動脈が走っており、交通の要衝としても発展してきました。

このほか、国道150号、362号、473号などの幹線道路、空の玄関口「富士山静岡空港」、世界に開かれた貿易港「清水港」なども備え、これからの発展が期待される地域であります。

人口減少・少子高齢社会が到来する中、中部5市2町は、それぞれの歴史や文化を受け継ぎ、異なった個性を有し、自立した自治体経営を行っており、それぞれが総合戦略を策定し、地方創生に取り組んでいるところであります。

そうした中、この地域が持つ地域資源を最大限に活かし、中部5市2町が相互に補完し、高め合い、それらを輝かせることを通じて、それぞれの市町が主役となって、メリットを実感できる連携を深めるため、国の「連携中枢都市圏」制度を活用し、中部5市2町が共通して抱える人口減少などの大きな課題に立ち向かっていきます。

そこで、われわれ静岡県中部5市2町の首長は、この圏域の将来像である

「海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏」

～日本の中心！ 住みたいまち 訪れたいまち 活力あふれる豊かな圏域を目指して～ の実現に向け、次の4つのスローガンを掲げ、将来に渡るこの地域の一体的発展を目指すことを宣言します。

- 1 圏域全体で 果敢に 「人口減少」に 立ち向かう
- 2 圏域全体が 総力で 「稼げる」 地域になる
- 3 圏域全体が 強靱で 「安心・安全」な 地域になる
- 4 圏域全体が 快適で 「暮らしの充実」した 地域になる

平成29年3月30日

静岡市長 田辺信宏

島田市長 染谷絹代

焼津市長 中野弘道

藤枝市長 北村正幸

牧之原市長 西原茂樹

吉田町長 田村典彦

川根本町長 鈴木敏夫